

福島第一原子力発電所の状況

2016年2月16日
東京電力株式会社

<1. 原子炉および原子炉格納容器の状況> (2/16 11:00 時点)

| 号機 | 注水状況 | | 原子炉压力容器 下部温度 | 原子炉格納容器 圧力 | 原子炉格納容器 水素濃度 |
|-----|-----------|--------------------------------|-----------------|---------------|-----------------|
| 1号機 | 淡水 注入中 | 給水系：約2.6 m ³ /h | 14.2 °C | 1.19 kPa g | A系： 0.04 vol% |
| | | 炉心スプレイ系：約1.9 m ³ /h | | | B系： 0.00 vol% |
| 2号機 | 淡水 注入中 | 給水系：約1.8 m ³ /h | 18.9 °C | 3.34 kPa g | A系： 0.01 vol% |
| | | 炉心スプレイ系：約2.4 m ³ /h | | | B系： 0.00 vol% |
| 3号機 | 淡水 注入中 | 給水系：約1.9 m ³ /h | 17.0 °C | 0.25 kPa g | A系： 0.08 vol% |
| | | 炉心スプレイ系：約2.3 m ³ /h | | | B系： 0.08 vol% |

<2. 使用済燃料プール(SFP)の状況> (2/16 11:00 時点)

| 号機 | 冷却方法 | 冷却状況 | SFP 水温度 |
|-----|----------|------|-----------------------|
| 1号機 | 循環冷却システム | 停止中 | 10.8 °C ^{*1} |
| 2号機 | 循環冷却システム | 運転中 | 24.9 °C |
| 3号機 | 循環冷却システム | 運転中 | 19.7 °C |
| 4号機 | 循環冷却システム | 運転中 | 8.8 °C |

※ 各号機 SFP および原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

※1 SFP 代替冷却システム停止中のため、至近のデータ(2/5 11:00)を記載。

【1号機】

・使用済燃料プール代替冷却系について、当該系統の弁点検のため、2/5 14:37 に冷却を停止。冷却停止時の SFP 水温度は 11.1°C。

その後、当該作業が終了したことから、2/16 14:49 に代替冷却系を起動。起動状態については異常がないことを確認。起動後の SFP 水温度は 18.5°C であり、運転上の制限値(60°C)以下となっている。

<3. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (2/16 11:00 時点)

| 設備 | セシウム 吸着装置 | 第二セシウム 吸着装置 (サリー) | 淡水化装置 (逆浸透膜) | 淡水化装置 (蒸発濃縮) | 多核種 除去設備 (ALPS) | 増設多核種 除去設備 | 高性能多 核種 除去設備 |
|----------|-------------------|-------------------------|------------------|------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 運転 状況 | 停止中 ^{*1} | 停止中 ^{*1} | 水バランスを みて断続運転 | 水バランスを みて断続運転 | ホット 試験中 ^{*2} | ホット 試験中 ^{*2} | ホット 試験中 ^{*2} |

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 *2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

<4. その他>

- ・2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。
2016/2/9 陸側遮水壁の凍結に必要となる工事が完了。
- ・2015/5/27～ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始。
- ・2016/1/21～ H4エリアにおいてフランジ型タンクの解体を開始。
- ・2016/2/9～ 3号機原子炉建屋1階にて、1/26より高所用除染装置(ドライアイスブラスト除染装置)による高所部の吸引除染を実施していたが、準備が整ったことから、ドライアイスブラスト除染を開始。
- ・2016/2/8～ 構内において発生した雑固体廃棄物を焼却処理するため、雑固体廃棄物焼却設備を設置し、汚染のない模擬廃棄物を用いた焼却試験を進めてきたが、当該設備の性能に異常のないことが確認できたことから、2/8 16:05～汚染のある雑固体廃棄物を用いた焼却試験(ホット試験)を実施。
- ・2016/2/13 雑固体廃棄物焼却設備については、2/8より焼却試験を行っていたが、A系排ガス冷却器の点検

口から水が滴下していることを確認したことから、2/13 12:38 に停止操作を行った。なお、モニタリングポスト等の指示値については、有意な変動は確認されていない。

- 2016/2/14 地下水バイパス設備において、2/14 9:47 に「地下水バイパス一時貯留タンクGr2水位高高警報」が発生し、一時貯留タンクへの移送ポンプが自動停止した。念のため揚水ポンプを手動停止し、地下水バイパスの汲み上げをすべて停止した。その後、10:26、現場にて当該タンクおよび移送ポンプに異常がなく漏えい等がないことを確認した。なお、地下水バイパス一時貯留タンクGr2は3基の連結されたタンクで構成され、それぞれに水位計が設置されており、2基のタンク水位計に異常は見受けられない。地下水バイパス設備の揚水ポンプおよび移送ポンプ全台が停止したこと以外に本件による作業への影響はない。
その後、12:35 タンク水位計の指示値が自然復帰し、警報も同時に復帰。水位計の指示値については、変動前と同等の値に戻っていることを確認。
- 2/15 当該タンクグループの水位計を点検した結果、水位計に異常が無かったことから、一過性の水位変動により警報の発生に至ったと推定。17:47 地下水バイパス設備の運転を再開。再開後の運転状況に漏えい等の異常は無い。

【1号機原子炉建屋カバー解体作業】

- 2015/5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストの値に有意な変動なし。
7/17 7:06～7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。
7/28 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。10/5 に全ての屋根パネルの取り外しが完了。
- 2016/1/8～ 支障鉄骨の解体作業を開始。

【サブドレン他水処理施設の状況】

- 2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。
9/17～ 地下水のくみ上げを昼間のみの間欠運転から24時間連続運転に切り替え。
- 一時貯水タンクFの当社および第三者機関による分析結果[採取日 2/9]は同等の値であり、共に運用目標値を満足していることから、2/17 海洋への排水を予定。

【地下水バイパスの状況】

- 地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。
- 一時貯留タンクグループ1の当社および第三者機関による分析の結果[採取日 2/3]は、同等の値であり、共に運用目標値を満足していることから、2/16 10:10 より海洋への排水を開始。同日 10:39、漏えい等の異常がないことを確認。

【1～3号機放水路の状況】

※1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム137の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。

<最新のサンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて】

<K排水路排水口のサンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

<H4・H6エリア周辺、福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- 今回の分析結果(採取日 2/14)については、悪天候により採取を中止した。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<地下水観測孔・海水サンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<地下貯水槽サンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。